

事業所名 グループホーム田園作成日: 平成 26年 2月 28日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	利用者の重度化を想定した対応や、終末期のケアに対する知識が乏しい面がある。	重度化、終末期のケアに対する知識・技術を身に付ける為の、勉強会を行う。	併設の特養からの情報や実際のケアをもとに、終末期の対応について話し合う機会を持つ。また、現在入所されている利用者が重度化された際に、どのようなことが想定されるか、どのようなケアが必要になるか話し合う機会を持つ。	12ヶ月
2	35	災害等において、関連機関や、地域住民との連携を強めていく必要がある。	関連機関や地域住民との連携をさらに深める。	地域の防災訓練に参加したり、自主防災組織(消防団)とのつながりを構築し、施設に招いての施設見学等を行い、情報提供、情報共有を行う。また、避難訓練等でのシュミレーションをもとに、職員一人ひとりが防災に対する意識を高め、災害発生時に円滑な対応ができるように勉強会を行う。	12ヶ月
3	36	利用屋者の尊厳やプライバシーについて、日頃の関わりを振り返り、配慮不足の面での意識を改善していく必要がある。	尊厳やプライバシー保護に対する知識・技術を身に付ける為の、勉強会を行う。	職員一人ひとりが、日々の関わりを振り返る機会を持ち、利用者の尊厳に配慮した声かけやケア、プライバシーの保護ができているかを話し合う機会を持つ。法人の研修資料も活用しながら、より現状に即した勉強会を行う。	12ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。